

INTERMOLD 2026 金型展2026

■主催／一般社団法人日本金型工業会・テレビ大阪

金属プレス加工技術展 2026

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

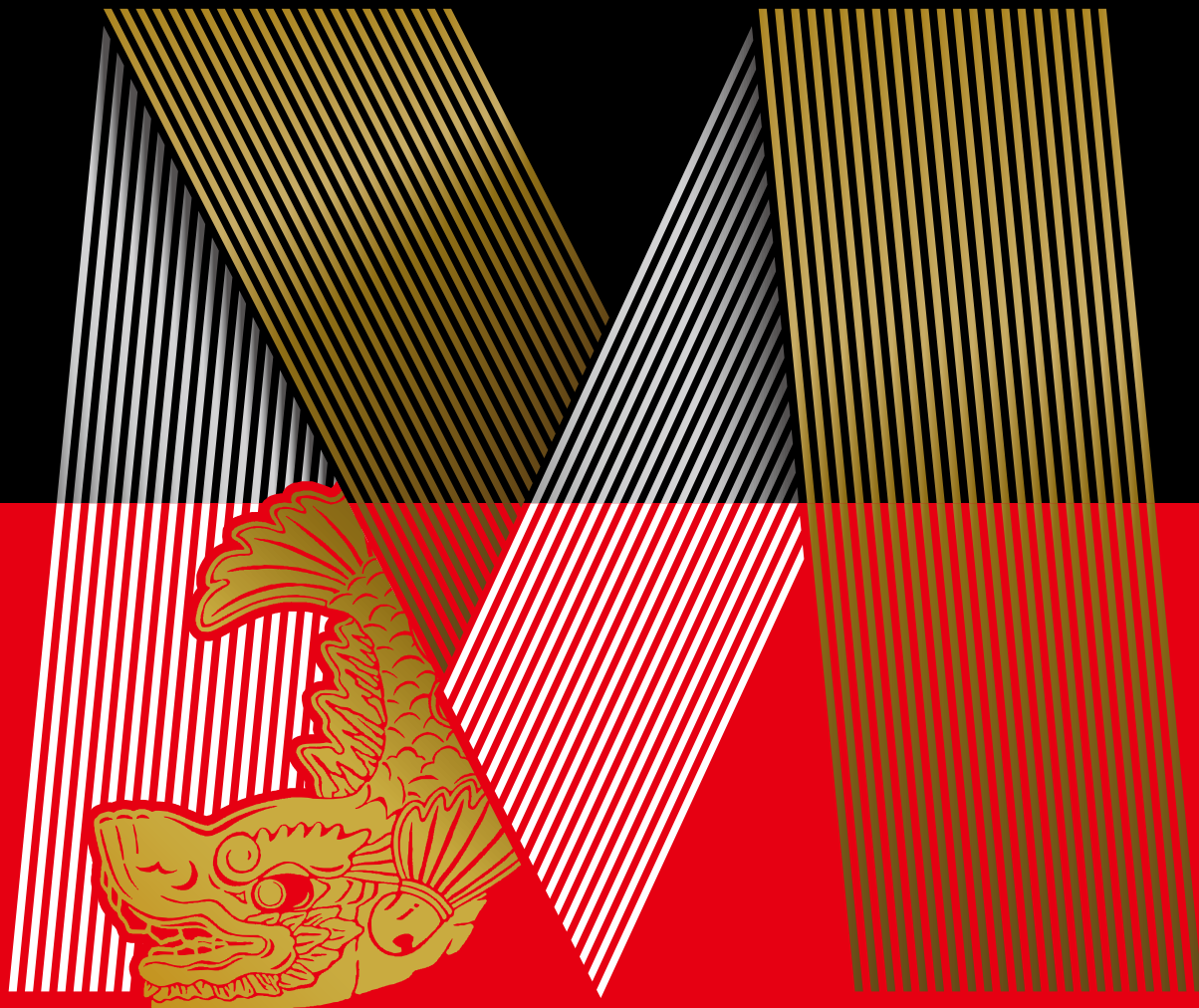
2026年

4月15^水日 > 17^金日

10:00 > 17:00

インテックス大阪

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102



INTERMOLD 名古屋 金型展名古屋

■主催／一般社団法人日本金型工業会

金属プレス加工技術展 名古屋

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

2026年

5月20^水日 > 22^金日

10:00 > 17:00

ポートメッセなごや

〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2

同時開催
名古屋会場

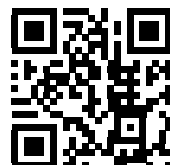
AM(アディティブマニュファクチャリング)の専門展、開催!

AM EXPO 名古屋

ADDITIVE MANUFACTURING EXPO NAGOYA

主催 一般社団法人 日本AM協会
Japanese Society of Additive Manufacturing

出展 案内



金型や金属プレス加工を中心とし

2026の開催テーマ

『変革の力を結集し、 世界をリードする日本のものづくりへ』

製造業はいま世界各国で大きな転換期に直面しています。自動車のEV化を代表例に産業構造の変化に伴うサプライチェーンの再構築やカーボンニュートラル・CO2排出量削減といった環境問題への対応、人手不足や競争力強化を背景とした自動化・高効率化など、製造業を取り巻く環境はこれまでにないスピードで目まぐるしく変化しています。この難局に対し、世界と戦いリードするためには、磨き上げてきた技だけでなく新技術の導入や変化に対応できる組織力と発想力といった“変革の力”が重要です。

金型・金属プレス加工技術の専門展として、本展は金型メーカーを支える工作機械や各種工具、CAD/CAM/CAE、表面処理など各分野の最新製品やサービス、導入事例を展示やセミナーで紹介し、ものづくり関連企業が抱える課題解決とビジネス促進の場を提供します。また、プラスチック部品成形や鍛造・鋳造技術、自動車、航空機など産業別部品加工に特化した特別企画フェアも併設し、異業種分野とのビジネスマッチングを後押しします。技術の深化と連携そして新たな市場開拓に向け、貴社の持つ変革の力をぜひこの場で発信してください。



ロボット・
AI技術活用

競争力強化
自動化・省人化

デジタル・
DX化

省エネ・
カーボン
ニュートラル

伝統技術
×
次世代・
新技術活用

微細・
超高精度
加工

プラスチック
成形技術



た素形材加工技術の専門見本市

INTERMOLD / 金型展 / 金属プレス加工技術展の強み

1 製造業の中でも"金型"や"金属プレス加工"
"超精密加工"に特化した専門展

2 40回以上の開催実績と知名度の高さ

3 国内産業の集積地3都市での開催【東京・大阪・名古屋】
奇数年は東京、偶数年は大阪・名古屋で開催

4 関連加工技術の業界団体の協力と出展により、
異業種間のビジネスマッチングを促進
(一社)日本鍛造協会、(一社)日本自動車部品工業会、(一社)型技術協会、
まんてんプロジェクト、(一社)日本AM協会 など

5 アジアを中心に海外企業の出展や来場が多く、
国際的なPRが可能

6 会期中に実施する懇親会など、
業界関係者との交流チャンスが豊富

開催記念レセプションパーティ、(一社)日本金型工業会若手会「天青会」「イーグル会」
「型青会」懇親会、(一社)日本金属プレス工業協会「プレスサロン」、
(一社)型技術協会「金型サロン」、ハッピーアワー など



主な出展物

INTERMOLD / 金型展

- 金型製造技術(工作機械、放電加工、切削・研削、仕上げ加工、周辺装置)
- ロボット、自動化装置、省力化装置
- 機械工具、研磨、砥石
- IoTソリューション、AI
- CAD/CAM/CAE
- 試作・モデリング
- 金型材料、鋼材、金型部品
- 精密仕上げ、バリ取り、研磨加工
- 熱処理、表面処理、表面改質
- 生産管理システム、DX化、省人化
- 各種成形加工(金属プレス加工、プラスチック成形、ゴム成形、ガラス成形、鍛造、鋳造、ダイキャスト)
- 環境配慮製品、素材
- 3Dプリンター、アディティブマニュファクチャリング(金属積層造形、樹脂積層造形 など)
- 切削工具
- ツーリング・工具保持具、治具
- 金型設計
- 測定器、計測器
- 金型、成形サンプル
- 成形材料
- 洗浄、補修、メンテナンス
- 油剤、ケミカル製品
- 各種部品加工技術など

※名古屋展は、併催展AM EXPOへご参加ください。

金属プレス加工技術展

- プレス加工機
(サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、
ファインプランキング、深絞りプレス、粉末成形プレス、
冷・温・熱間鍛造プレスなど)
- 周辺機器
(トランスファースystem、アンコイラー、レベラー、フィーダー、
安全装置、その他関連機器)
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR

主な来場者

INTERMOLD / 金型展 / 金属プレス加工技術展

- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型、鍛造金型、鋳造金型、ダイカスト金型、ガラス金型、プラスチック金型、ゴム金型、ブロー金型、粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理
- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、
建設・建材、研究・教育、公社・官公庁
- 製品最終組み立て(アッセンブリ)メーカー
- 部品等のサプライヤー



“来場者への新技術提案”

各業界団体協力のもと、6つの特別展示フェアを実施。加工技術やテーマ・分野ごとに特化した製品やサービスを集中的に展示することで、課題をお持ちの来場者や異業種間のビジネスマッチングを促進します。各フェアへの出展をご希望の方は、お申込みの際に希望フェアを選択してください。

NEW 超精密・難加工技術フェア

医療機器や半導体、光学機器、航空機部品といった高付加価値分野で必要とされる高精度な加工技術や、セラミック・チタンなど難削材に対応する高度な技術を集中的に発信する企画エリアです。これら特殊材料・微細形状・超高精度部品の加工や組み立てを行う技術者、調達担当者に対し“超高精度加工”に特化した技術力や実績を訴求できます。

出展対象

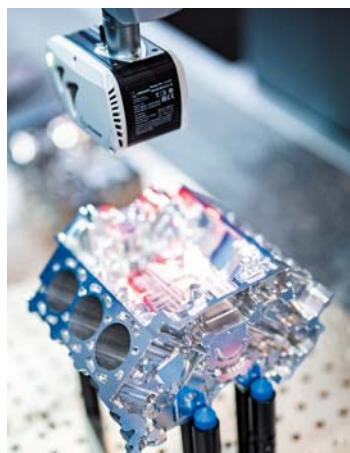
- 微細加工(ミクロン・ナノレベル)
- 切削工具
- 難削材加工(超硬合金、セラミック、チタンなど)
- 高精度金型製作
- 高精度EDM/レーザー加工技術
- 真円度・平面度・真直度対応の加工技術
- 超精密測定・検査装置

主な来場対象

- 下記産業の製品・装置製造メーカーや部品加工メーカー
- 医療用機器(内視鏡、人工関節、インプラント、マイクロ流路)
 - 半導体製造機器(ウェハ搬送、洗浄、露光装置関連)
 - 電子機器(スマートフォン等)
 - 時計、カメラ、光学機器、レンズ
 - 航空宇宙産業機器
 - 自動車



製造業DX・AI・ロボット活用フェア



製造現場では人手不足や生産性向上、品質の安定化といった課題への早急な対応が求められています。本フェアはロボットやAI、IoT、デジタルツインなど、「工場の自動化」を構築するためのツール・技術・ノウハウを集約した専門エリアです。生産工程の最適化に加え、仕様書や見積書作成など日々の業務の効率化を実現したい工場関係者へ、自社ソリューションの具体的な導入効果や活用事例をご紹介します。

出展対象

- 協働ロボット、産業用ロボット、自動搬送ロボット
- システムインテグレーション
- シミュレーション、画像解析ソフト、AIシステム
- データ解析、予知保全
- メンテナンス
- IoTソリューション
- クリーンルーム恒温室
- 刻印機
- セキュリティ関連
- 監視、防犯カメラ
- 作業管理システム
- PLM/PDM、MES(製造実行システム)
- ERP(基幹資源計画)
- MRP(資材所要量計画)
- SCADA(監視制御システム)
- WMS(倉庫管理システム)
- 生産管理システム
- 機械稼働管理システム

鍛造加工技術フェア

高強度・高耐久性が求められる分野でカギとなる鍛造技術。加えて安定した生産力や品質を保ちつつ、コスト低減や軽量化といった付加価値も求められています。本フェアでは、自動車や建設機械、航空機部品など関連する技術者へ温間・熱間・冷間鍛造の加工機械やシミュレーションソフト、金型、周辺装置など、鍛造に関する技術・設備を発信し、ビジネスマッチングを促進します。

出展対象

- 鍛造加工機(ハンマ、冷間・温間・熱間鍛造プレス、ローリングミル、アブセッタなど)
- 周辺機器、装置(切断機、加熱装置、検査・測定機器など)
- ロボット、自動化システム
- 金型、表面処理
- CAD、CAM、CAE
- 潤滑剤
- 各種鍛造加工品
- 成形サンプル
- 鍛造加工事業者による技術PR

フェア協力団体：一般社団法人 日本鍛造協会



鍛造業界を取り巻く環境は、押し寄せる電動化の波、カーボンニュートラル、エネルギー問題、情勢不安、為替、労働力不足等、まさに混迷の時代の中、企業の存続をどのように考えるかが喫緊の課題となっています。このような状況下において、各社は、国内外での競争力を高めるべく、自社の保有技術とデジタル技術を融合し、軽量化をはじめ、省エネ、低コスト、高付加価値化、さらなる高品質化に向けた技術開発に取り組んでいます。



プラスチック部品製造技術フェア

自動車などの大型部品や医療機器、半導体部品としても用いられ、その成形技術にも注目が集まるプラスチック。加えて、バイオプラスチックといった環境負荷軽減が可能な次世代素材の活用など、プラスチック加工を取り巻く環境は大きな動きを見せています。そこで、INTERMOLDの強みである「金型加工」と「部品製造+プラスチック成形」をテーマに、樹脂素材や成形機、製造技術を、部品加工メーカーや自動車・医療・半導体といった樹脂製品に関わる企業へPRします。

出展対象

- 成形機（射出成形機、押出成形機、ブロー成形機など各種成形機）
- 周辺装置（原料混合・供給装置、機械部品、検査・ほか）
- 金型関連（金型、温度調節機、ホットランナー装置、CAE、センサーなど）
- 原材料・添加剤（樹脂原材料、再生材料、配合剤/添加剤、コーティング原料など）
- 表面加工・コーティング ■試作加工受託 など

フェア協力団体：小松技術士事務所

次世代の金型業界における主要な原材料であるプラスチック。サステナブルな新製品や加工技術の対応が成功の鍵を握ります。本フェアでは、生分解性プラスチックやバイオプラスチックをはじめとした次世代素材とその加工技術、実用化事例や企業・団体の取り組みなど、最先端の情報を広く発信します。国連ではライフサイクルを通じてプラスチック汚染の悪影響から人の健康と環境を守る「プラスチック条約」の制定作業が進行しています。気候変動の抑止、海洋マイクロプラスチック汚染ゼロを実現するために世界各国の政府や産業界は、現実的な取り組みを急ピッチで始めており、米国や欧州では野心的なチャレンジに果敢に挑戦をしています。日本政府は、G20大阪サミットで採択された2050年までに新たな海洋プラスチック汚染をゼロを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を掲げ、世界をリードする立ち位置にいますが、その実現にはバイオマスを原料として化学合成されたバイオプラスチックや生分解性プラスチックの活用が避けられません。世界の投資家や事業家は、バイオプラスチック製品生産に使用する日本の優れた金型技術、成形機や周辺機器に大きな期待を寄せています。精密で信頼性の高いものづくりの伝統を活かした日本の金型イノベーションが新たなステージへ登場しようとしています。



自動車部品製造技術フェア



国内製造業の中核を担う自動車分野では、EV化・軽量化・高機能化により「ギガキャスト」など次世代加工法の開発をはじめとした部品製造技術の革新が進んでいます。これらに対応する素材や機械、技術など貴社の持つ次世代自動車技術を、来場する大手自動車メーカーやサプライヤーに対してご提案ください。

出展対象

- 自動車部品メーカー ■自動車部品サプライヤー ■機能性部品製造技術
- 部品製造設備・工作機械・工作機器・工具・治具・精密測定器・試験装置・検査装置
- 高機能素材・高機能部材 ■共同受注・開発グループ ■企業連携・産学連携グループ

フェア協力団体：一般社団法人 日本自動車部品工業会



日本自動車部品工業会は国内約430社の自動車部品メーカーが加盟する業界団体です。自動車産業は100年に一度の変革期を迎え、CASE・SDVといった大きな構造変化への対応に迫られる中、会員会社と共にさまざまな問題・課題に取り組んでいます。重点活動8大テーマを掲げ、【「カーボンニュートラル(CN)」】「DX」【「オープンイノベーション」】「取引適正化」【「レジリエンス」】「物流強靱化」【「外国人技能実習生」】事業活動を進めております。

航空機部品加工技術フェア

厳格な品質管理と高い加工技術が求められる航空機部品。本フェアは、難削材加工や微細加工、品質保証・測定技術、特殊熱処理・洗浄など、航空機製造における専門性の高いニーズに対応した技術やサービスといった最新情報を紹介できるエリアです。来場する航空機OEM・部品メーカーの開発・調達担当者に対し、貴社のもつ高い技術力と品質の高さを広くご紹介ください。

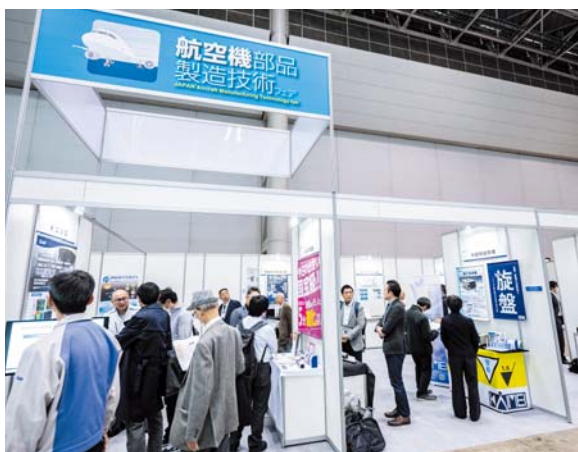
出展対象

- 航空機部品メーカー ■高機能素材、特殊素材メーカー ■装備品メーカー
- 内装品メーカー ■共同受注・共同開発グループ ■企業連携・産学連携グループ
- 空飛ぶクルマ・ドローン



フェア協力団体：まんてんプロジェクト

航空・宇宙分野がかかえる課題や新たに参入するために必要な情報、技術、ノウハウなどを取り上げて、会員企業が求める多様なニーズに対応する取り組みを進めています。具体的には、会員企業の得意技術を活用した航空宇宙関連部品や民生品の受注業務や航空・宇宙関連分野の動向、技術情報の課題などを取り上げた講演会、会員企業の得意技術を紹介するための展示会への出展、研究機関や企業への見学会を実施しています。



コンテンツ紹介(過去実績)

最新製品やサービスの展示以外に、時流に沿ったテーマをピックアップした特別講演や出展者による新製品発表・技術発信・導入事例の紹介を行うテクニカルセミナーを多数実施しています。今後も様々なバックボーンをもった来場者へ向けて、業界注目のテーマを取り上げ継続的に実施してまいります。

“来場者への積極的なプレゼンテーションのチャンス”

テクニカルワークショップ



製品や技術PR以外に、ユーザー会や新製品発表の場など目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナー。聴講登録方法のほか受講料の有無、受講制限など実施内容に応じてカスタマイズ可能です。

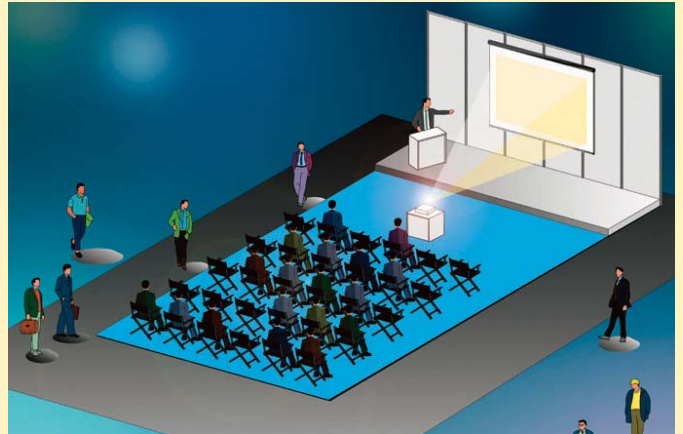
※受講者受付は出展者ご自身で行っていただきます。
※開講日時などは事務局にて決定します。
※正式な募集は出展申込締切日以降を予定しております。

会場 インテックス大阪／ポートメッセなごや
会議室または展示館内特設会場

定員 80～100名程度 ※シアター形式

開講料 60分／110,000円(税込)
90分／143,000円(税込)

オープンセミナー



展示館内の通路沿いに来場者が自由に出入りできるオープン形式のセミナースペースを設けます。より多くの方々へ製品やサービスのPRを行うことができ、自社ブースへの誘導にも期待できるため、出展効果の最大化が見込めます。

※複数セッション開講することも可能です(複数開講時値引きあり)。
※開講希望者多数の場合は、セッション数の調整をお願いする場合があります。
※開講日時などは事務局にて決定します。
※正式な募集は出展申込締切日以降を予定しております。

会場 インテックス大阪／ポートメッセなごや
展示館内特設会場(オープンスペース)

定員 30～40名程度 ※座席設置数、立ち見も可能 ※シアター形式

開講料 45分／66,000円(税込) ※時間延長不可

2025東京展 セミナー紹介 (※社名・部署名・役職などは開催当時のまま)

基調講演

詳細は
こちら



『日本金型産業のさらなる競争力強化に向けて～プレス金型業界横断の共通基盤づくり～』

講師：トヨタ自動車株式会社 モノづくり開発センター モビリティソーリング部 部長 大澤 晋一郎 氏
日産自動車株式会社 車両生産技術開発本部 プレス技術部 部長 岡本 辰也 氏
マルスン株式会社 代表取締役社長 鈴木 将生 氏
株式会社ハヤシ 部品調達部 部長 岩本 泰光 氏
モデレーター：株式会社ハヤシ 代表取締役社長 林 秀昭 氏 (日本金属プレス工業協会 副会長)

他特別講演17セッション

テクニカルワークショップ

詳細は
こちら



- 1.『樹脂成形プロセスシミュレーションソフト "SIGMASOFT" のDoE・自動最適化機能を用いた金型仕様の改善と設計効率化手法』
2.『生産技術領域における大規模構造解析を用いた課題解決の重要性』
講師：SCSK 株式会社 デジタルエンジニアリング事業本部
プロダクト技術部 渡邊 良輝 氏 / 樋口 慧 氏
- 『加工品質向上と高効率化を両立する最新工具と活用事例』
講師：日進工具株式会社 営業部 営業支援グループ 営業技術課 主任補 酒井 優 氏
- 『AIを活用した射出成形シミュレーションの高速化と金型設計への応用』
講師：サイバネットシステム株式会社 デジタルエンジニアリング事業本部
エンジニアリング統括部 ソリューション開発部 課長 中原 裕介 氏
- 『金型加工のお悩みを解決 高機能最新エンドミルのご紹介』
講師：ユニオンツール株式会社 EM 工具開発課 係長 高松 学 氏

他3セッション

オープンセミナー

詳細は
こちら



- 『樹脂流動解析を用いた多色成形、インサート成形の検証』
講師：株式会社セイロジャパン 今嶋 晋一 氏
- 『ロボット教示ソフト「特盛りくん」活用による金型治工具の自動肉盛り補修の事例紹介』
講師：南海モルディ株式会社 MOLDe 製品開発室 室長 福原 千里 氏
- 『CAD/CAMの連動で手戻りのない効率的なもののづくりの実現』
講師：コダマコーポレーション株式会社 営業部 営業課 専任係長 鈴木 貴之 氏
- 『～現場はこう変わる～ 機上測定で金型の自動良品生産を！』
講師：ブルーム・ノボテスト株式会社 営業部 営業技術チーム
マネージャー 仲村 祐介 氏

他25セッション

2024大阪展 セミナー紹介 (※社名・所属・役職などは開催当時のまま)

特別講演

詳細は
こちら



『自動車産業を取り巻く環境変化と金型を軸とした競争力について』

講師：トヨタ自動車株式会社 モノづくり開発センター 素形材技術部 主査 門野 英彦 氏

『中国ギガダイキャスト型の現状及び勢い（日本語講演）』

講師：中国模具工業協会 シンクタンク専門家（管理型） 中国模具工業協会鑄造模具委員会 常務副主任
大連市模具協会常務副会長 共立精機（大連）有限公司 董事長 孟 強 氏

他10セッション

テクニカルワークショップ

詳細は
こちら



○『金型部品の高品位加工・高精度加工に貢献するファナックの技術』

講師：ファナック株式会社 ロボマシ事業本部
ロボマシセールス推進部 課長 櫻川 智信 氏

○『～BIG～生産性向上テクニカルセミナー』

講師：大昭和精機株式会社 営業技術部 課長 岩村 卓 氏

○『加工能率向上による高付加価値加工を実現するための取り組み』

講師：日進工具株式会社 営業部営業支援グループ営業技術課 主任 福嶋 裕也 氏

○『「フォームコントロール X」デビュー！ 次世代のワーク自動測定&追加工プロセスをご紹介』

講師：ブルーム・ノボテスト株式会社 営業部
営業技術チーム アカウントマネージャー 武部 隆 氏

他4セッション

オープンセミナー

詳細は
こちら



○『次世代アンダーカット成形ユニット“すっぽん”』

講師：株式会社テクノクラーツ 代表取締役社長 反本 正典 氏

○『最先端 CAE(Moldex3D) を用いた射出成形不具合予測と その最新動向』

講師：株式会社 JSOL エンジニアリング事業本部 高橋 大輔 氏

○『樹脂流動解析 Moldex3D の解析精度向上の取り組み ～成形機の特徴を考慮した解析～』

講師：株式会社セイロジャパン Moldex ソリューションセンター 課長 田中 久博 氏

○『X 線を活用した非破壊検査技術と応用例』

講師：ハルステック工業株式会社 係長 谷高 弘将 氏

他14セッション

2024名古屋展 セミナー紹介 (※社名・部署名・役職などは開催当時のまま)

基調講演・特別講演

詳細は
こちら



○基調講演

『日本の素形材産業の展望』

講師：経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長 星野 昌志 氏

○特別講演

『ダイカスト技術とギガキャストの動向』

講師：リョービ株式会社 ダイカスト企画開発本部 研究開発部 部長 新田 真 氏

他15セッション

テクニカルワークショップ

詳細は
こちら



○『成功事例に見る令和のプレスの選び方』

講師：ベストプレスマン 高橋 実 氏

○『金属プレスシミュレーションによる金型造形プロセスの改善と 方案検討の効率化』

講師：サイバネットシステム株式会社 デジタルエンジニアリング事業本部
エンジニアリング事業部 メカニカル技術部 福原 貴人 氏

○『表面処理による金型寿命の向上』

講師：エリコンジャパン株式会社 バルサース事業本部 営業本部 ツール営業部
プロダクトマネージャー フォーミングツールズ 大崎 隆史 氏

○『中大物金型における最新加工事例のご紹介』

講師：株式会社牧野プライス製作所
カスタマアプリケーションセンタ カスタマサポート部 武藤 功一郎 氏

○『工期 50% 短縮を実現！ Cimatron によるプレス金型 3D 設計とは？』

講師：株式会社セイロジャパン Cimatron 課 テクニカルマネージャー 高村 真二 氏

オープンセミナー

詳細は
こちら



○『TopSolid'Mold による プラスチック金型・ダイキャスト金型設計・製作の効率化』

講師：コダマコーポレーション株式会社

○『射出成形金型の設計効率向上に寄与するシミュレーション技術』

講師：サイバネットシステム株式会社 エンジニアリング事業部 中原 裕介 氏

○『カナック処理及び EVOLK 処理を活用した金型の長寿命化の提案』

講師：株式会社カナック 代表取締役 堀越 弘也 氏

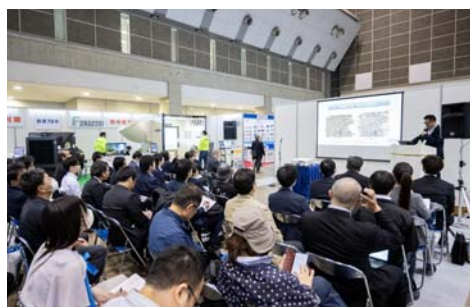
○『量産工法としての 3D プリンター活用最前線』

講師：SOLIZE 株式会社
デジタルマニュファクチャリングサービス事業部 AM システム部 小澤 純一 氏

○『試作から小ロット生産まで対応する Formlabs 社製 3D プリンタシリーズのご紹介』

講師：株式会社データ・デザイン テクニカルユニット 山本 彩乃 氏

他23セッション



前回開催実績 2024大阪展

開催データ

開催概要

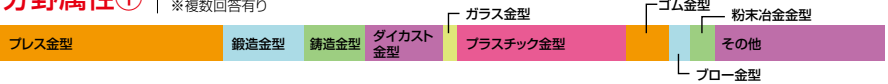
名 称	INTERMOLD 2024(第35回 金型加工技術展)／金型展2024			金属プレス加工技術展2024	
会 期	2024年4月17日(水)～19日(金) 10:00～17:00				
会 場	インテックス大阪 6号館 A・B				
出展規模	395社・団体 699小間				
出展状況	金型・金型材・金型部品等 248社	プラスチック加工機械・関連機器 13社	工作機械 32社		
	精密測定機器・光学測定機器 28社	工作機械用付属機器など 14社	CAD／CAM／CAE システムなど 41社		
	切削工具 17社	試作・モデリング・3Dプリンター関連 52社	機械工具・研磨・砥石関連 14社		
	精密部品加工技術 128社	金属加工関連機器 41社	各種団体・研究機関など 14社		
	各種油剤・ケミカル製品など 15社	ロボット・自動化 33社	プレス加工機 29社		
	図書・文献・資料 9社	プレス加工機用周辺機器 19社			

来場者数 37,057人

日付	天候	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	VIP
4月17日(水)	晴れ	5,822人	1,914人	1,731人	246人
4月18日(木)	晴れ	7,445人	2,143人	2,436人	277人
4月19日(金)	晴れ	9,326人	2,771人	2,739人	207人
合計		22,593人	6,828人	6,906人	730人

分野属性①

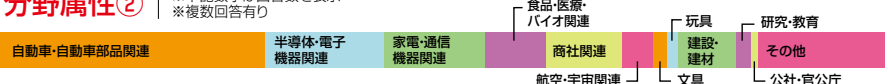
※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り



内訳	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
プレス金型	36.1%	39.9%	66.4%
鍛造金型	15.1%	14.8%	16.5%
鋳造金型	12.3%	11.6%	9.6%
ダイカスト金型	16.2%	14.2%	11.0%
ガラス金型	2.9%	3.0%	2.0%
プラスチック金型	34.8%	40.8%	15.0%
ゴム金型	8.2%	9.5%	6.2%
ブロー金型	4.3%	4.6%	2.7%
粉末冶金金型	5.0%	4.3%	4.4%
その他	36.8%	20.4%	30.1%

分野属性②

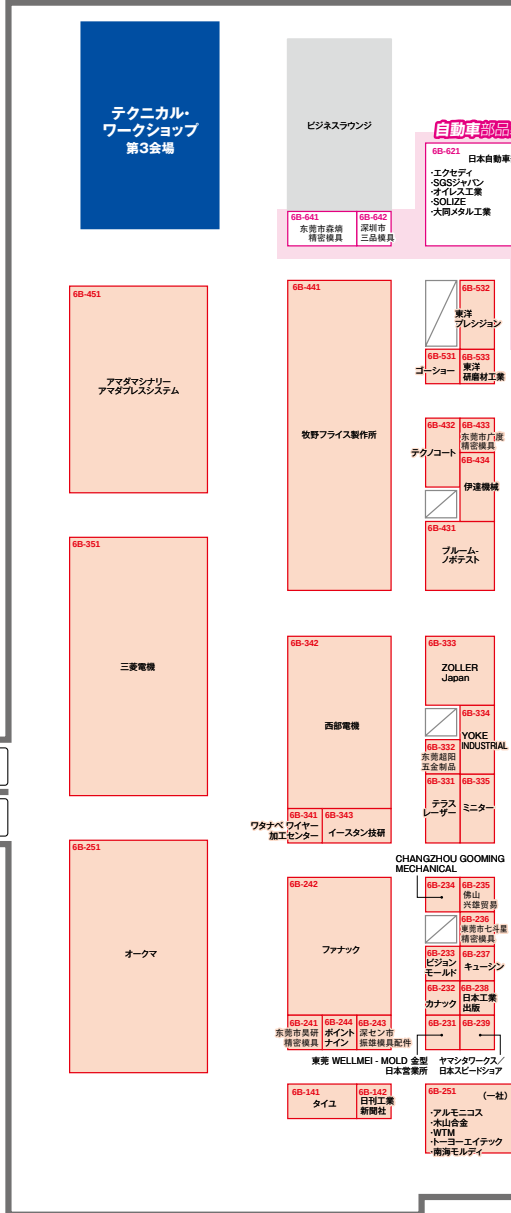
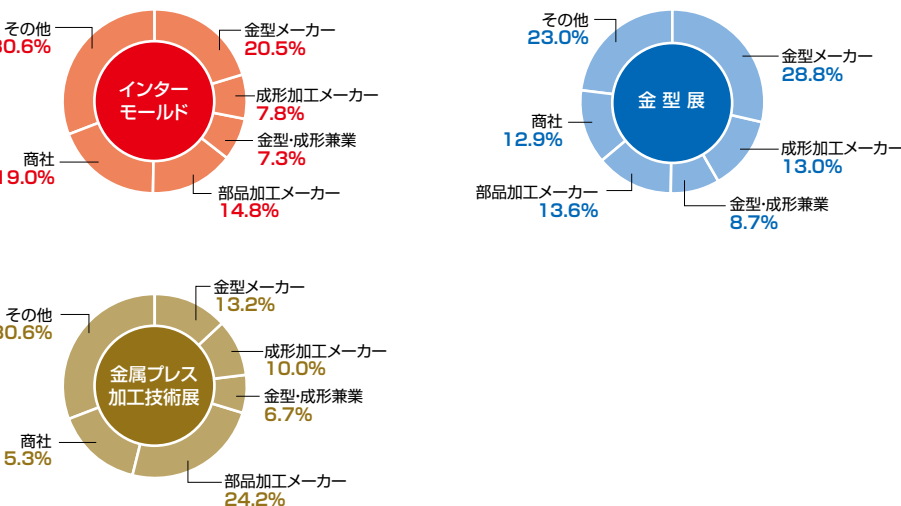
※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り



内訳	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
自動車・自動車部品関連	49.6%	54.4%	49.6%
半導体・電子機器関連	23.0%	21.4%	22.8%
家電・通信機器関連	18.2%	22.2%	20.1%
食品・医療・バイオ関連	12.3%	13.8%	7.3%
商社関連	15.9%	9.8%	14.1%
航空・宇宙関連	6.7%	4.6%	4.6%
文具	2.5%	4.3%	1.9%
玩具	2.0%	3.1%	1.2%
建設・建材	8.2%	12.8%	18.0%
研究・教育	3.3%	3.0%	2.2%
公社・官公庁	1.3%	0.9%	1.6%
その他	25.0%	21.7%	23.5%

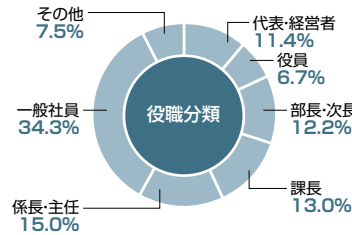
来場者業種分類

※各項目の「比率」は
小数点第一位までを表示

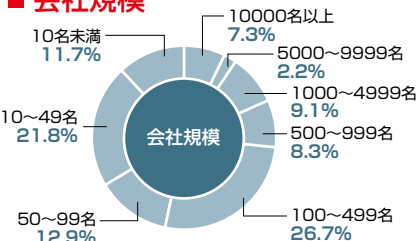


6B号館

役職分類

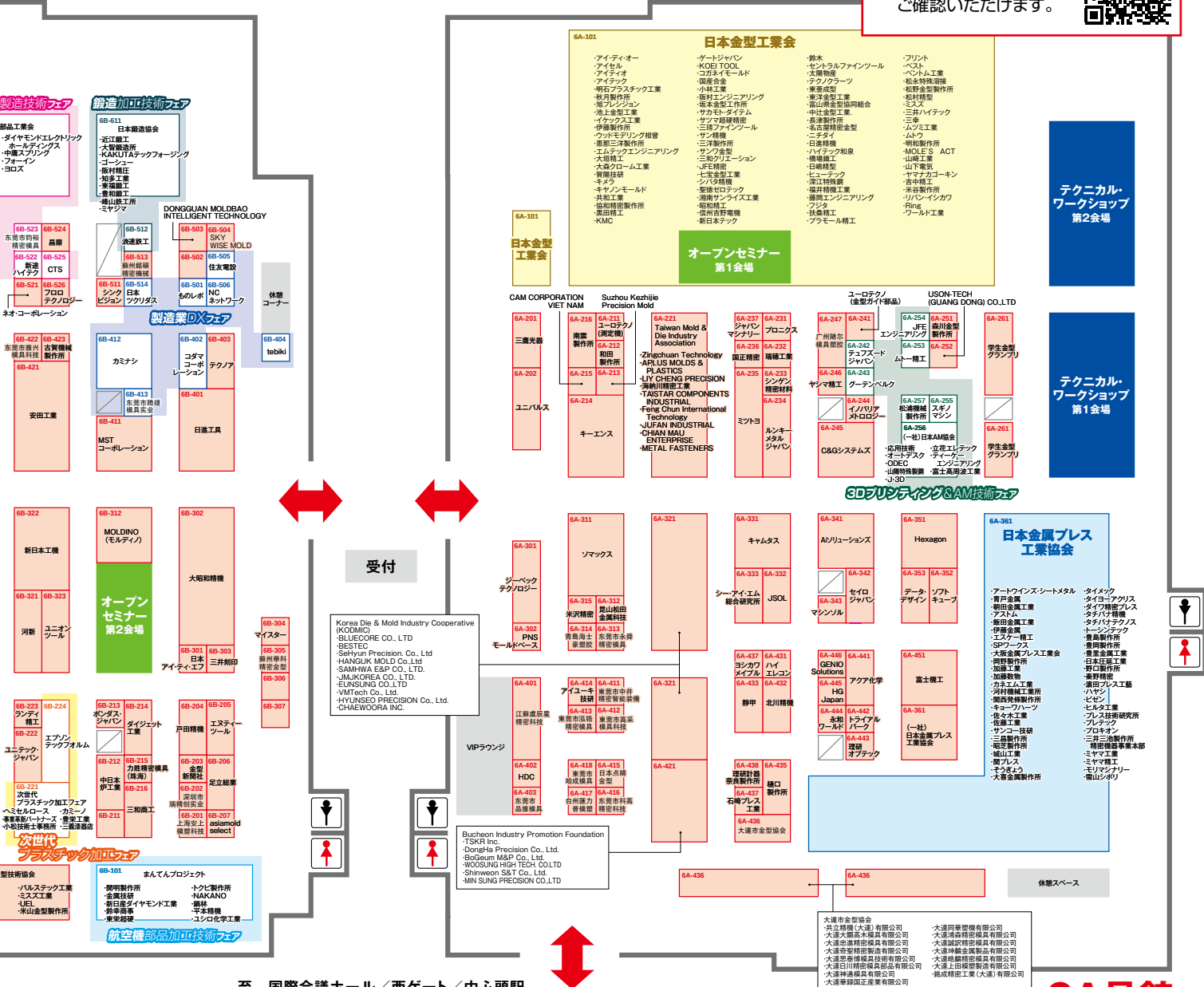


会社規模



■ **会場レイアウト**

こちらのQRコードからご確認ください。

至 国際会議ホール／西ゲート／中心頭駅

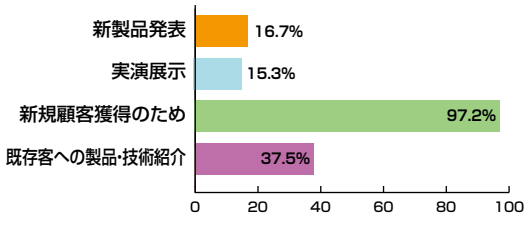
6A号館

■ **来場者の地域分類**

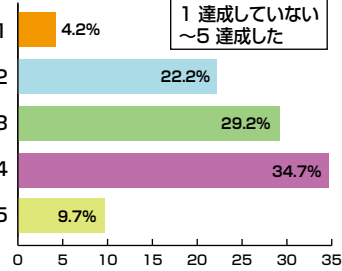
	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
北海道地区	0.2%	0.1%	0.1%
東北地区	0.6%	0.4%	0.4%
関東地区	7.3%	4.5%	5.1%
中部地区	12.0%	11.5%	10.3%
北陸地区	1.8%	2.3%	1.9%
近畿地区	68.0%	69.4%	74.2%
中国・四国地区	5.1%	5.8%	5.4%
九州・沖縄地区	1.6%	2.1%	1.0%
海外	3.4%	3.9%	1.6%

※各項目の「比率」は小数点第一位までを表示

■ **出展の目的**



■ **左記目的の達成について**



1 達成していない
~5 達成した

■ **出展者一覧**

こちらのQRコードからご確認ください。



前回開催実績 2024名古屋展

開催データ

開催概要

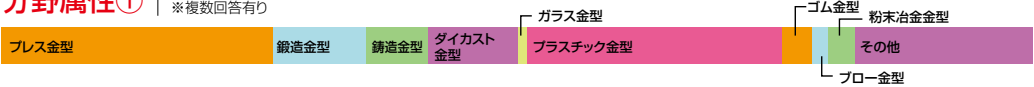
名 称	INTERMOLD 名古屋／金型展名古屋		金属プレス加工技術展名古屋		AM EXPO 名古屋	
会 期	2024年6月26日(水)～28日(金) 10:00～17:00					
会 場	ポートメッセなごや(〒455-0848 名古屋市長区金城ふ頭2-2)					
出展規模	391社・団体 544小間					
出展状況	金型・金型材・金型部品等 242社	プラスチック加工機械・関連機器 18社	工作機械 30社			
	精密測定機器・光学測定機器 23社	工作機械用付属機器など 11社	CAD／CAM／CAE システムなど 38社			
	切削工具 14社	試作・モデリング・3Dプリンター関連 52社	機械工具・研磨・砥石関連 17社			
	精密部品加工技術 131社	金属加工関連機器 66社	各種団体・研究機関など 15社			
	各種油剤・ケミカル製品など 10社	ロボット・自動化 32社	プレス加工機 33社			
	図書・文献・資料 9社	プレス加工機用周辺機器 20社				

来場者数 38,998人

日付	天候	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	AM EXPO	VIP
6月26日(水)	曇り	5,244人	1,412人	1,398人	715人	156人
6月27日(木)	曇り	8,845人	2,286人	2,721人	1,031人	169人
6月28日(金)	雨	9,403人	2,281人	2,073人	1,086人	178人
合計		23,492人	5,979人	6,192人	2,832人	503人

分野属性①

※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り



内訳	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	AM EXPO 名古屋
プレス金型	43.4%	48.0%	80.8%	21.9%
鍛造金型	15.8%	17.4%	21.4%	12.3%
鋳造金型	11.4%	11.4%	9.7%	13.9%
ダイカスト金型	18.6%	16.6%	11.9%	17.5%
ガラス金型	1.9%	1.6%	1.2%	1.4%
プラスチック金型			36.2%	34.4%
ゴム金型			6.2%	6.5%
粉末冶金金型			3.6%	3.5%
その他			25.8%	16.8%

分野属性②

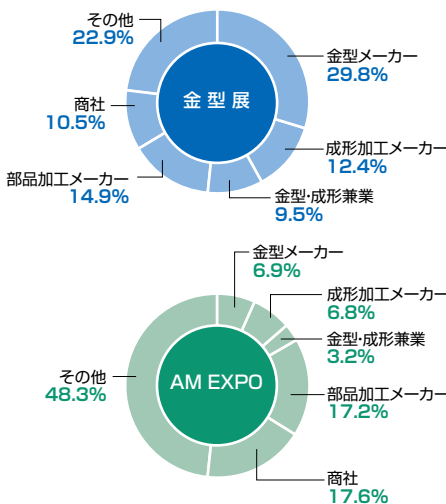
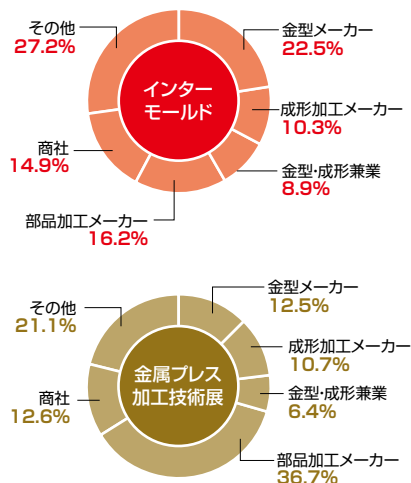
※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り



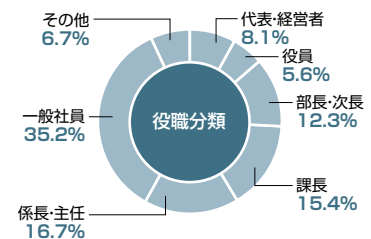
内訳	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	AM EXPO 名古屋
自動車・自動車部品関連	67.4%	72.3%	71.2%	13.1%
半導体・電子機器関連	15.7%	13.6%	16.7%	3.7%
家電・通信機器関連	12.6%	13.5%	14.7%	2.0%
食品・医療・バイオ関連	5.9%	6.6%	4.3%	1.6%
商社関連	11.1%	7.7%	10.0%	3.4%
航空・宇宙関連	5.1%	3.9%	4.5%	2.8%
文具				1.7%
建設・建材				4.8%
研究・教育				2.1%
公社・官公庁				1.1%
その他				16.2%

来場者業種分類

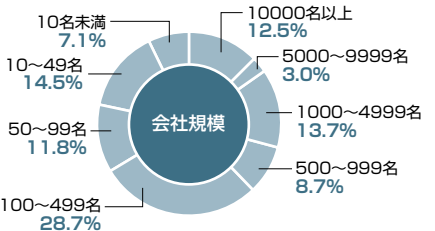
※各項目の「比率」は
小数点第一位までを表示



役職分類



会社規模

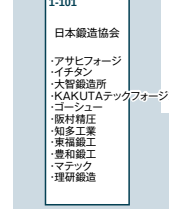


第1展示館

テクニカル
ワークショップ
第1会場

テクニカル
ワークショップ
第2会場

鍛造加工技術フェア



テクニカル
ワークショップ
第3会場

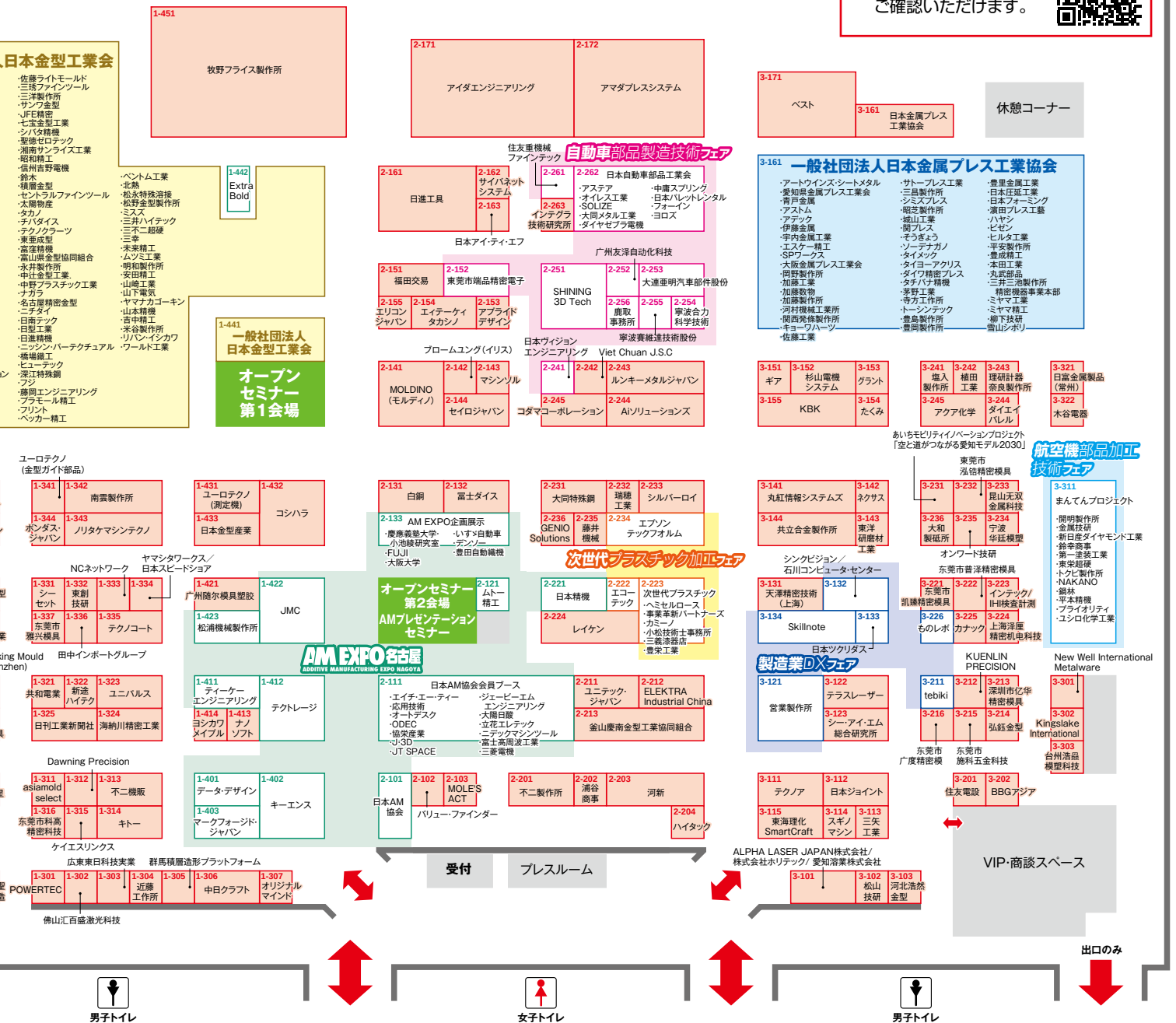
- 一般社団法人
- アイ・ティ・オー
 - アイセル
 - アイティオ
 - アイテック
 - 旭プレジション
 - 池上金型工業
 - イクス工業
 - 伊藤製作所
 - 井上製作所
 - 伊藤機械
 - ワタモトプレジション
 - エムアイモデル
 - エムエス製作所
 - 大田精工
 - 大久保金型工業
 - 大倉クロム工業
 - 同機製作所
 - IBUKI
 - 質屋技研
 - カフマタ・テクノス
 - 新東製作所
 - キメラ
 - 協栄プリント技研
 - 共和工業
 - 協和精密製作所
 - 久野金型工業
 - 黒田精工
 - KMC
 - ゲートジャパン
 - 小出製作所
 - KOEI TOOL
 - コナメイモールド
 - 国産合金
 - サイベックコーポレーション
 - 後和エンジニアリング
 - 坂本金型工業
 - サカモト・ダイテム
 - 作石製作所
 - サンマ超硬精密

- シンゲン精密材料
- 1-231 シンタイ
 - 1-232 プライ
 - 1-233 オリテイ
 - 1-234 タムロ
 - 1-235 旭時精密
 - 1-236 深堀
 - 1-221 BKテック
 - 1-222 浪速鉄工
 - 1-223 森川金
 - 1-224 森川金
 - 1-225 金型
 - 1-226 新聞社
 - 1-211 怡和製模科技
 - 1-212 江東近方
 - 1-213 方廣
 - 1-214 精密機械製造
 - 1-215 大連
 - 1-216 益大
 - 1-217 大連
 - 1-218 大連
 - 1-219 大連
 - 1-220 大連
 - 1-221 大連
 - 1-222 大連
 - 1-223 大連
 - 1-224 大連
 - 1-225 大連
 - 1-226 大連
 - 1-227 大連
 - 1-228 大連
 - 1-229 大連
 - 1-230 大連
 - 1-231 大連
 - 1-232 大連
 - 1-233 大連
 - 1-234 大連
 - 1-235 大連
 - 1-236 大連
 - 1-237 大連
 - 1-238 大連
 - 1-239 大連
 - 1-240 大連
 - 1-241 大連
 - 1-242 大連
 - 1-243 大連
 - 1-244 大連
 - 1-245 大連
 - 1-246 大連
 - 1-247 大連
 - 1-248 大連
 - 1-249 大連
 - 1-250 大連

出口のみ

1F 正面外 キッチンカー

こちらのQRコードから
ご確認いただけます。



■ 左記目的の達成について

	インター モールド	金型展	金属プレス 加工技術展	AM EXPO
北海道地区	0.3%	0.1%	0.3%	0.4%
東北地区	0.7%	0.4%	0.7%	1.0%
関東地区	7.7%	5.8%	5.5%	10.4%
中部地区	74.0%	77.0%	74.5%	71.0%
北陸地区	2.0%	2.0%	2.5%	1.4%
近畿地区	11.1%	9.8%	13.3%	12.7%
中国・四国地区	1.3%	1.1%	1.5%	1.6%
九州・沖縄地区	1.2%	1.4%	0.5%	0.8%
海外	1.7%	1.8%	1.2%	0.7%

新製品発表 21.1%

実演展示 13.8%

新規顧客獲得のため 89.0%

既存客への製品・技術紹介 44.0%

0 20 40 60 80 100

1 3.7%

2 11.9%

3 32.1%

4 44%

5 8.3%

0 10 20 30 40 50

1 達成していない
~5 達成した

こちらのQRコードから
ご確認いただけます。



前回開催実績 2025東京展

開催データ

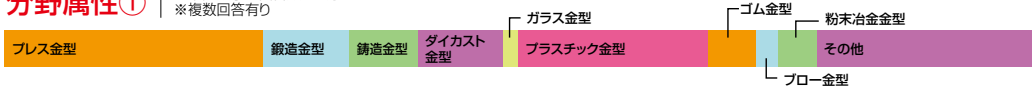
■ 開催概要

名 称	INTERMOLD 2025／金型展2025		金属プレス加工技術展2025		AM EXPO 東京
会 期	2025年4月16日(水)～18日(金) 10:00～17:00				
会 場	東京ビッグサイト 東4・5ホール				
出展規模	525社・団体 745小間				
出展状況	金型・金型材・金型部品等 341社	プラスチック加工機械・関連機器 31社	工作機械 27社		
	精密測定機器・光学測定機器 29社	工作機械用付属機器など 35社	CAD／CAM／CAE システムなど 49社		
	切削工具 24社	試作・モデリング・3Dプリンター関連 57社	機械工具・研磨・砥石関連 19社		
	精密部品加工技術 155社	金属加工関連機器 68社	各種団体・研究機関など 17社		
	各種油剤・ケミカル製品など 16社	ロボット・自動化 44社	プレス加工機 30社		
	図書・文献・資料 8社	プレス加工機用周辺機器 20社			

■ 来場者数 41,461人

日付	天候	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	AM EXPO	VIP
4月16日(水)	晴れ	6,597人	2,238人	1,757人	759人	245人
4月17日(木)	晴れ	7,619人	2,610人	2,345人	938人	229人
4月18日(金)	晴れ	9,503人	2,872人	2,583人	930人	236人
合計		23,719人	7,720人	6,685人	2,627人	710人

■ **分野属性①** ※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り



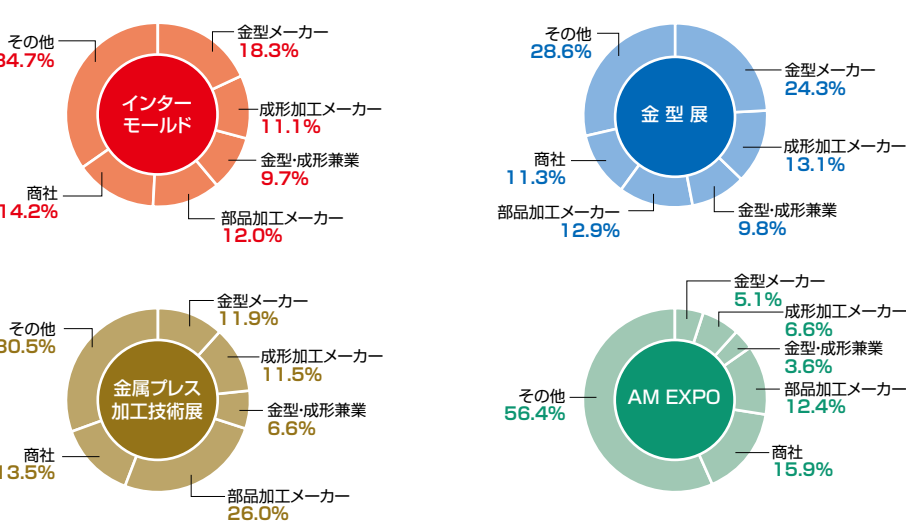
内訳	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	AM EXPO 東京
プレス金型	37.7%	41.3%	67.3%	19.0%
鍛造金型	13.3%	13.4%	18.5%	9.1%
鑄造金型	11.1%	11.8%	11.5%	10.1%
ダイカスト金型	15.5%	14.7%	11.9%	11.8%
ガラス金型	3.3%	2.5%	2.2%	1.8%
プラスチック金型	42.9%	40.2%	17.3%	21.2%
ゴム金型	8.8%	8.0%	7.3%	6.2%
ブロー金型	5.1%	3.8%	2.6%	2.8%
粉末冶金金型	5.0%	3.9%	4.5%	11.2%
その他	29.9%	21.0%	27.5%	62.1%

■ 分野属性② ※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り

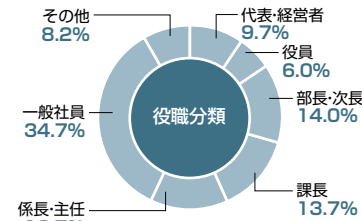


内訳	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	AM EXPO 東京					
自動車・自動車部品関連	51.7%	50.4%	54.0%	15.1%	文具	3.2%	3.0%	2.4%	0.5%
半導体・電子機器関連	24.0%	21.2%	23.8%	8.1%	玩具	3.4%	3.5%	1.3%	1.4%
家電・通信機器関連	19.5%	19.5%	17.0%	4.9%	建設・建材	6.1%	8.6%	12.0%	3.3%
食品・医療・バイオ関連	14.1%	12.5%	7.2%	3.0%	研究・教育	3.4%	2.4%	2.7%	4.0%
商社関連	12.1%	9.8%	12.2%	5.3%	公社・官公庁	1.5%	1.3%	1.2%	1.2%
航空・宇宙関連	7.7%	4.8%	6.6%	4.9%	その他	21.9%	20.0%	18.5%	12.0%

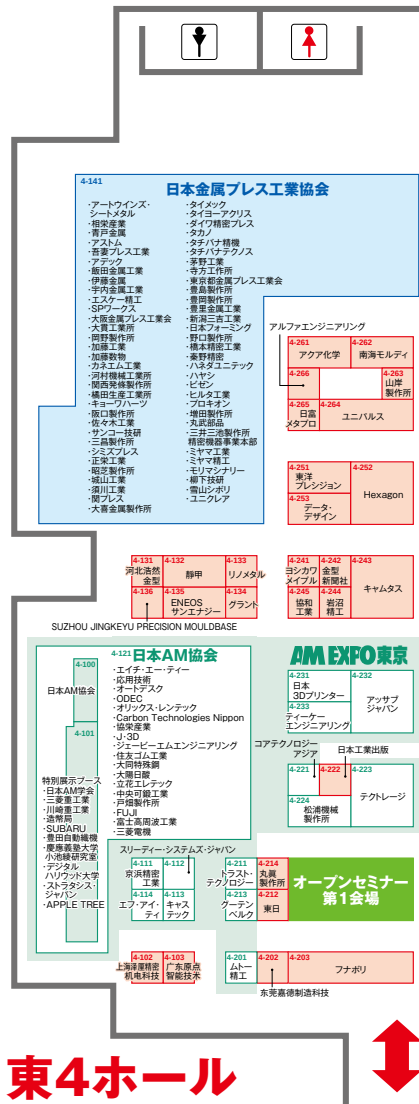
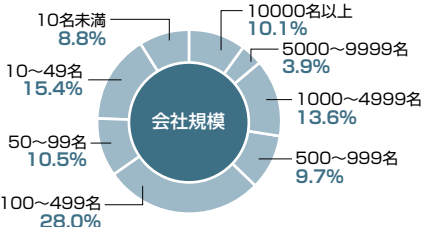
■ 来場者業種分類 | ※各項目の「比率」は
小数点第一位までを表示



■ 役職分類



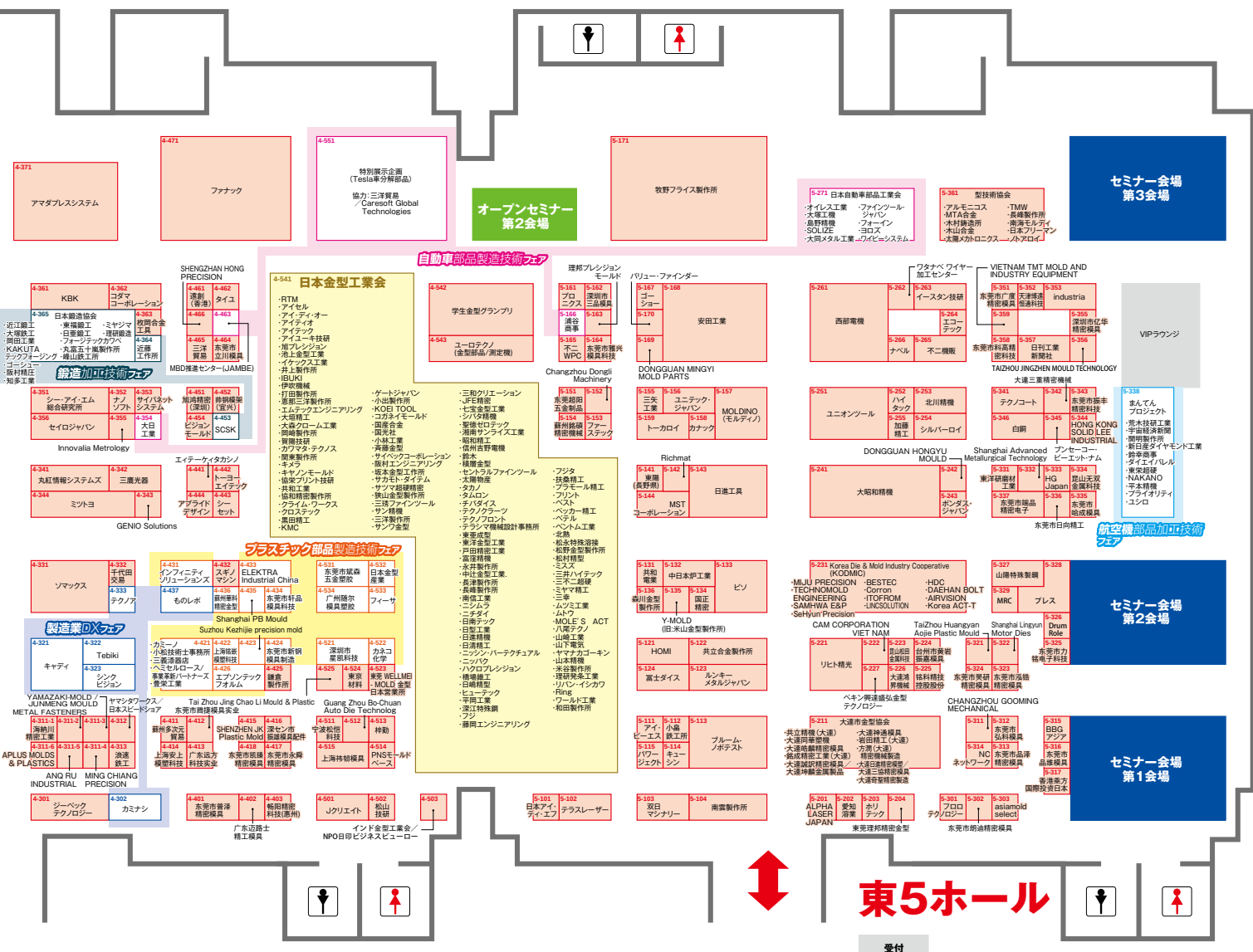
■ 会社規模



東4ホール

■ 会場レイアウト

こちらのQRコードからご確認いただけます。

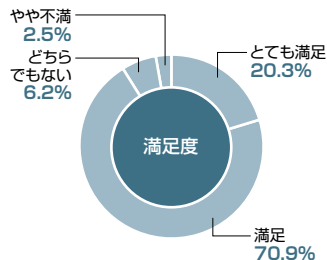



■ 来場者の地域分類

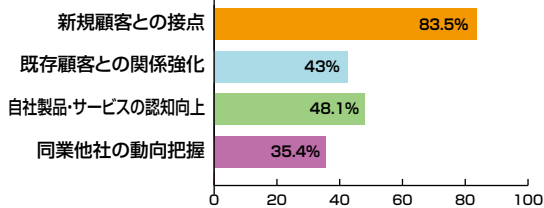
	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展	AM EXPO
北海道地区	0.3%	0.2%	0.3%	1.7%
東北地区	3.1%	3.8%	2.9%	1.9%
関東地区	63.8%	64.7%	64.9%	66.1%
中部地区	17.0%	14.2%	16.4%	13.3%
北陸地区	2.7%	2.3%	1.8%	2.4%
近畿地区	6.6%	7.7%	8.2%	10.0%
中国・四国地区	1.5%	1.8%	1.6%	2.1%
九州・沖縄地区	1.4%	1.4%	1.4%	0.8%
海外	3.6%	3.9%	2.5%	1.7%

※各項目の「比率」は小数点第一位までを表示

■ 出展の満足度



■ 出展成果を感じた点について



■ 出展者一覧

こちらのQRコードからご確認いただけます。



出展料金／申込方法

出展料金

種別	Aタイプ (スペースのみ)	Bタイプ (基礎装飾・設備付き)	Cタイプ (基礎装飾・設備付き)
一般	462,000円(税込)	605,000円(税込)	676,500円(税込)
※正会員・賛助会員価格は主催団体の会員のみ適用			
賛助会員	407,000円(税込)	539,000円(税込)	
会員	385,000円(税込)	517,000円(税込)	

角小間指定料

66,000円(税込) (1・2小間の申込者のみ対象)

小間仕様

サイズ／間口(W)約3m×奥行(D)約3m×高さ(H)2.7m(約9m²) ※B・Cタイプ:内寸法 間口2.93m×奥行2.93m
単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限りです)

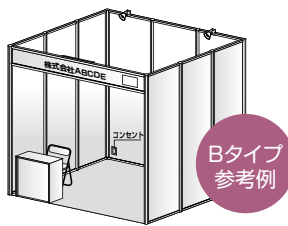
小間設備内容(A～Cの3タイプから1つ選択)

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基礎装飾・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ設備内容(1小間あたり)

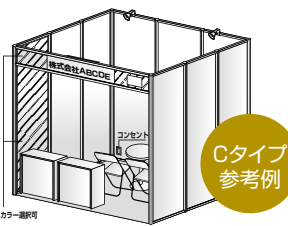
- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(1灯)
- コンセント(900W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

Bタイプ
参考例

※1kWまでの電気使用料を含んでいます。
※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。
※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

Cタイプ(基礎装飾・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Cタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 壁面2面のカラー選択可
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 商談テーブルセット(テーブルとパイプ椅子3)
- 展示台2台(W990×D495×H750mm×2)
- A4/パンフレットラック1台
- ゴミ箱1つ
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(1灯)
- コンセント(900W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

Cタイプ
参考例

※1kWまでの電気使用料を含んでいます。
※小間数にかかわらず社名板は1枚のみ、商談セットは1セットのみ装備されます。
※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

割引制度

初出展割引(主催団体の正会員、賛助会員は対象外)

大阪展 INTERMOLD/金型展/金属プレス加工技術展
3展への出展が初めての企業について、
出展料金を **5% OFF** します
名古屋展 ※対象:一般のみ
※早期割引との併用可

早期申込割引(全出展企業対象)

大阪展 10/31(金)までのお申込みで、
出展料金を **10% OFF** します
名古屋展 11/30(日)までのお申込みで、
出展料金を **10% OFF** します

2026年大阪展出展者割引

名古屋展 2026年大阪展出展企業が、
名古屋展に申込まれた際は、
出展料金を **10% OFF** します
※早期割引との併用は不可
※大阪展の出展料金は割引になりません。

申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。

➡ <https://www.intermold.jp/application/>



なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。

出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。

インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

《重要》重量物展示、および展示内容制限に関して

重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックをして下さい。
また、展示会場での「危険物品の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)
などを含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示
などに制限が設けられる場合がございます。
出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いいたします。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。
詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込み場合、小間タイプを混在して申し込みことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込みの際、出展者名を「/」でつないで登録してください。個別の登録はできません。(出展者名の変更は後日可能)

申込締切日

※ただし、満小間になり次第締切となります。

大阪展 2025年12月23日(火)

名古屋展 2026年1月31日(土)

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 請求書に記載の期日までに出席料金をお振込みいただきます。
- 出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

スケジュール／開催概要

スケジュール

大阪展 **INTERMOLD 2026 金型展2026 金属プレス加工技術展2026**

早期割引 2025年 10月31日(金)	出展申込締切 12月23日(火)	会場レイアウト/ 出展マニュアル 公開 2026年2月上旬	出展準備 手続き受付 2月上旬～ 3月下旬	搬入・装飾作業 4月12日(日)PM～ 14日(火)	会期 4月15日(水)～17日(金)	搬出・撤去 4月17日(金) 17:00～/ 18日(土)AM ※一部出展者のみ
--------------------------------	-------------------------	--	------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	--

名 称	INTERMOLD 2026(第37回金型加工技術展)／金型展2026		金属プレス加工技術展2026	
会 期	2026年4月15日(水)～17日(金) 10:00～17:00			
会 場	インテックス大阪(〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102)			
主 催	一般社団法人日本金型工業会／テレビ大阪		一般社団法人日本金属プレス工業協会	
運 営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)			
予想来場者数	40,000人(同時開催展を含む)			
入 場 料	3,000円(税込)※事前登録のうえ、来場者証持参者は無料			

名古屋展 **INTERMOLD 名古屋 金型展名古屋 金属プレス加工技術展 名古屋**

早期割引	出展申込締切	会場レイアウト/ 出展マニュアル 公開	出展準備 手続き受付	搬入・装飾作業	会期 5月20日(水)～22日(金)	搬出・撤去
2025年 11月30日(日)	2026年 1月31日(土)	3月下旬	3月下旬～ 4月下旬	5月17日(日)PM～ 19日(火)		5月22日(金) 17:00～/ 23日(土)AM ※一部出展者のみ

名 称	INTERMOLD 名古屋／金型展 名古屋		金属プレス加工技術展 名古屋	
会 期	2026年5月20日(水)～22日(金) 10:00～17:00			
会 場	ポートメッセなごや(〒455-0848 名古屋市長区金城ふ頭2-2)			
主 催	一般社団法人日本金型工業会		一般社団法人日本金属プレス工業協会	
運 営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)			
予想来場者数	40,000人(同時開催展を含む)			
入 場 料	3,000円(税込)※事前登録のうえ、来場者証持参者は無料			
同 時 開 催	AM EXPO 名古屋			

名古屋会場 同時開催

AM EXPO 名古屋
ADDITIVE MANUFACTURING EXPO NAGOYA

2026年5月20日(水)～22日(金)

10:00～17:00

ポートメッセなごや

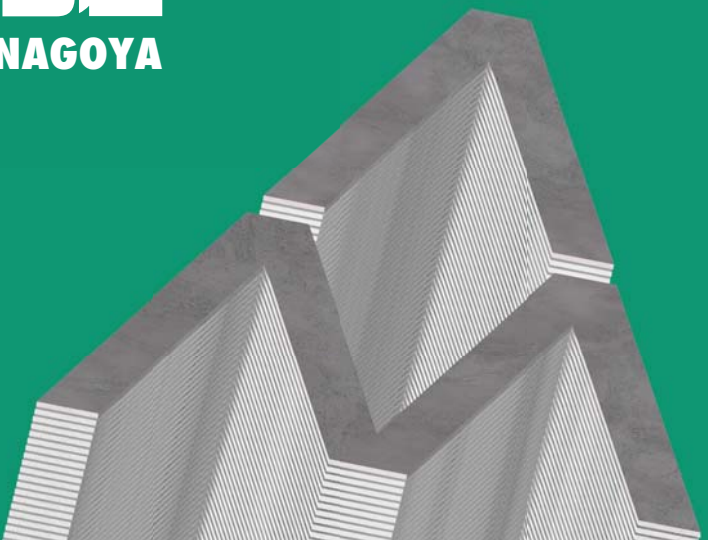
〒455-0848 名古屋市長区金城ふ頭2-2

主催  一般社団法人 日本AM協会
Japanese Society of Additive Manufacturing

共催 インターモールド振興会、ポートメッセなごやMICEコンソーシアム
TEL:06-6944-9911

https://www.intermold.jp/am_expo/

AMの活用促進と、
ものづくり分野で
ビジネスマッチングを



主な出展規程

1. 出展料金等の請求と支払い、返金等について

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出展料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします（お支払いは銀行振込のみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません）。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての支払い、返金についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書（申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど）を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消（キャンセル）

- (1) 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更（出展小間数の一部キャンセルなど）を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得て下さい。
- (2) やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料（角小間料金含む）をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

大阪展	
書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2025年11月1日～2025年12月23日	出展料金（税込）の 10%
2025年12月24日～2026年1月7日	出展料金（税込）の 50%
2026年1月8日～2026年1月31日	出展料金（税込）の 75%
2026年2月1日以降	出展料金（税込）の100%

名古屋展	
書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2025年12月1日～2026年1月23日	出展料金（税込）の 10%
2026年1月24日～2026年2月10日	出展料金（税込）の 50%
2026年2月11日～2026年2月28日	出展料金（税込）の 75%
2026年3月1日以降	出展料金（税込）の100%

- (3) 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4) 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出展料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用する事ができるものとします。

大阪展	
①2026年1月31日（土）までに出品料金を完納しない場合	
②事前申告なしに搬入日の2026年4月14日12時までに小間の使用を開始しない場合	
③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合	

名古屋展	
①2026年2月28日（土）までに出品料金を完納しない場合	
②事前申告なしに搬入日の2026年5月19日12時までに小間の使用を開始しない場合	
③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合	

4. 小間位置の決定

- (1) 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全体の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します（予定）。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- (2) 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名の表記は、出展者名併記の場合のみとします。

7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

- (1) 小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期日内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。

(2) いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更に同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。

(3) 事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

(4) 出展者は開催期間中、各種規程を遵守しブース運営を行うこととします。また、全期間においてブース運営責任者、またはそれに準ずる者が展示ブース、各種会場にて立ち会わなければいけないこととします。原則、ブースを無人で運営することはできません。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催概要の変更または開催中止について

主催者は、天災および本項に定めるその他の不可抗力により展示会の開催が著しく困難となった場合、開催概要の大幅な変更、会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、この決定および実行により被る出展者に生じた損害や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する一切の責任を負わないものとします。

- (1) 会期変更の取り扱いについて
出展申込みは、変更された会期等についても有効とし、変更などを理由として出展を取消することはできません。
- (2) 出展料金の返金について
主催者が展示会開催を事前または会期中に中止した時は、既納出展料金から下記に定める金額を返金します。その際、銀行振込手数料は出展者の負担とします。また、主催者が会期変更（延期）を行った場合は、既納出展料金の返金が行わないものとします。
会期変更を行った際は、その変更した開催日程に応じた出展料金の返金規程を、主催者および事務局が設定するものとします。

中止による既納出展料金の返金割合

大阪展	
2025年12月31日まで	出展料金（税込）の全額返金
2026年1月1日～2026年1月31日	出展料金（税込）の65%返金
2026年2月1日～2026年2月28日	出展料金（税込）の50%返金
2026年3月1日～2026年3月31日	出展料金（税込）の35%返金
2026年4月1日～2026年4月11日	出展料金（税込）の25%返金
2026年4月12日以降	出展料金の返金はいりません。

名古屋展	
2026年1月31日まで	出展料金（税込）の全額返金
2026年2月1日～2026年2月28日	出展料金（税込）の65%返金
2026年3月1日～2026年3月31日	出展料金（税込）の50%返金
2026年4月1日～2026年4月30日	出展料金（税込）の35%返金
2026年5月1日～2026年5月16日	出展料金（税込）の25%返金
2026年5月17日以降	出展料金の返金はいりません。

- (3) 不可抗力について
戦争、暴動、反乱、内乱、テロ、火災、爆発、洪水、盗難、害意による損害、ストライキ、立入制限、天候、第三者による差止行為、国防、公衆衛生に関わる緊急事態、国または地方公共団体の行為または規制など、主催者のコントロールの及ばないあらゆる原因をいいます。

11. 日本国内への入国手続き

出展者が、本展示会への出展のため日本国内への入国手続きを必要とする場合、出展者は自己の責任において日本国内への入国手続きを行うものとし、入国審査に関わる全ての手続きならびに経費に対しては、主催者は一切の責任を負わないものとします。また、何らかの理由によりわが国に入国できないために出展申込を取り消す場合には、出展者は主催者に対し、「3. 出展申込の取消（キャンセル）」に定める規程によりキャンセル料を支払うものとします。

12. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。